

令和4年度 学校評価

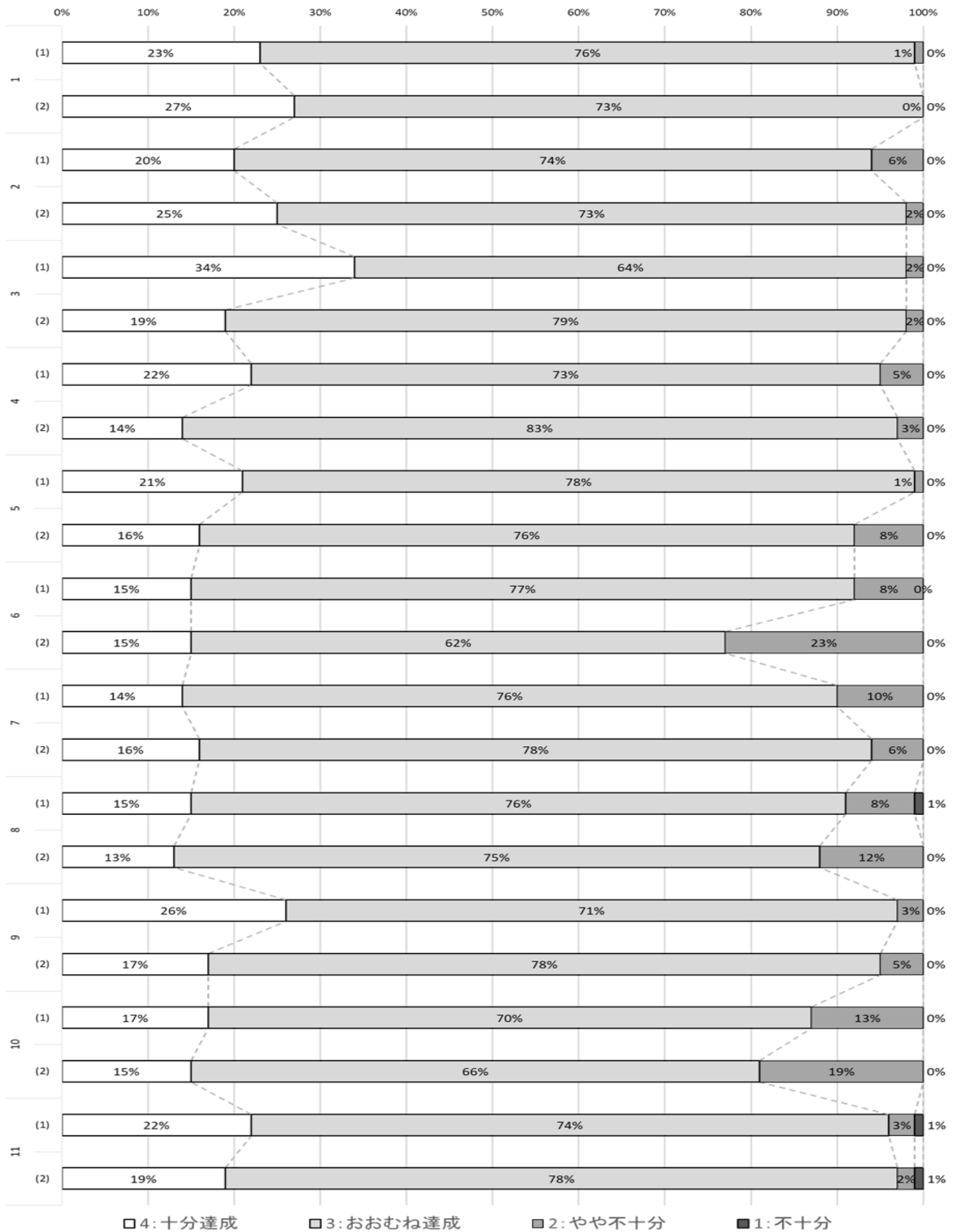
職員による自己評価の結果・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
保護者による学校評価の結果・・・・・・・・・・・・・・・・	P 3
学校評価の結果を受けて・・・・・・・・・・・・・・・・	P 4

職員による自己評価の結果（表）

□4：十分達成 □3：おおむね達成 □2：やや不十分 ■1：不十分

桜養 プラン	目 標	評価割合				評価割合 (4+3)	第2回 評価	第1回 評価
		4	3	2	1			
1	(1) 児童生徒の人権を尊重した言動を心掛け、丁寧なかかわり合いに取り組む。	23%	76%	1%	0%	99%	A	A
	(2) 児童生徒・保護者の思いを受け止める教育相談や情報交換に取り組む。	27%	73%	0%	0%	100%	A	A
2	(1) 教職員全員がマニュアル等を理解し、有事に備える意識と実践力を高める。	20%	74%	6%	0%	94%	A	A
	(2) ヒヤリハットを早期に共有し、再発防止策を講じ事故等の発生を防止する。	25%	73%	2%	0%	98%	A	A
3	(1) 健康な体づくりのために、養護教諭や栄養教諭、関係する係との連携を深める。	34%	64%	2%	0%	98%	A	A
	(2) 安心・安全な校内環境を整え、病気やけがを未然に防ぐための環境整備に取り組む。	19%	79%	2%	0%	98%	A	A
4	(1) 学校全体で訪問教育の情報共有及び医ケアの課題に取り組む。	22%	73%	5%	0%	95%	A	A
	(2) 自立活動等に関する研修を充実し、教職員の個々の実践力を高める。	14%	83%	3%	0%	97%	A	A
5	(1) 一人一人のニーズを多面的かつ的確にとらえ、具体的な目標設定と実践に生かす。	21%	78%	1%	0%	99%	A	A
	(2) 教職員全員が、学習指導要領を踏まえた授業改善に取り組む。	16%	76%	8%	0%	92%	A	A
6	(1) 児童生徒の実態に応じ、将来の家庭生活や職業生活につながる実践に取り組む。	15%	77%	8%	0%	92%	A	A
	(2) キャリア教育における小・中学部の系統的な指導に取り組む。	15%	62%	23%	0%	77%	B	B
7	(1) 実態に応じた交流及び共同学習等を工夫・改善して取り組む。	14%	76%	10%	0%	90%	A	B
	(2) 地域の学校等の実情等に応じたセンター的機能を発揮する。	16%	78%	6%	0%	94%	A	A
8	(1) 全ての教育課程の指導において、効果的なICT機器の活用に取り組む。	15%	76%	8%	1%	91%	A	A
	(2) ICT機器の操作等の専門性を向上させるための研修を充実する。	13%	75%	12%	0%	88%	A	A
9	(1) HPや学級通信等で保護者への情報提供を行うとともに、教育相談等を充実する。	26%	71%	3%	0%	97%	A	A
	(2) 学校内及び外部評価を踏まえ、計画的に工夫しながら改善する。	17%	78%	5%	0%	95%	A	A
10	(1) 全職員が業務改善を実践し、月あたりの勤務時間外の学校在校時間45時間以内を厳守する。事務職員及び用務員は適正な勤務時間の管理を行う。	17%	70%	13%	0%	87%	A	A
	(2) 校務分掌業務の簡素化と効率化に取り組み、教材研究の時間確保に取り組む。	15%	66%	19%	0%	81%	A	A
11	(1) 令和5年度小・中学部及び高等部の教育課程を編成する。	22%	74%	3%	1%	96%	A	A
	(2) 諸移転業務を計画的に行う。	19%	78%	2%	1%	97%	A	A

職員による自己評価の結果（グラフ）

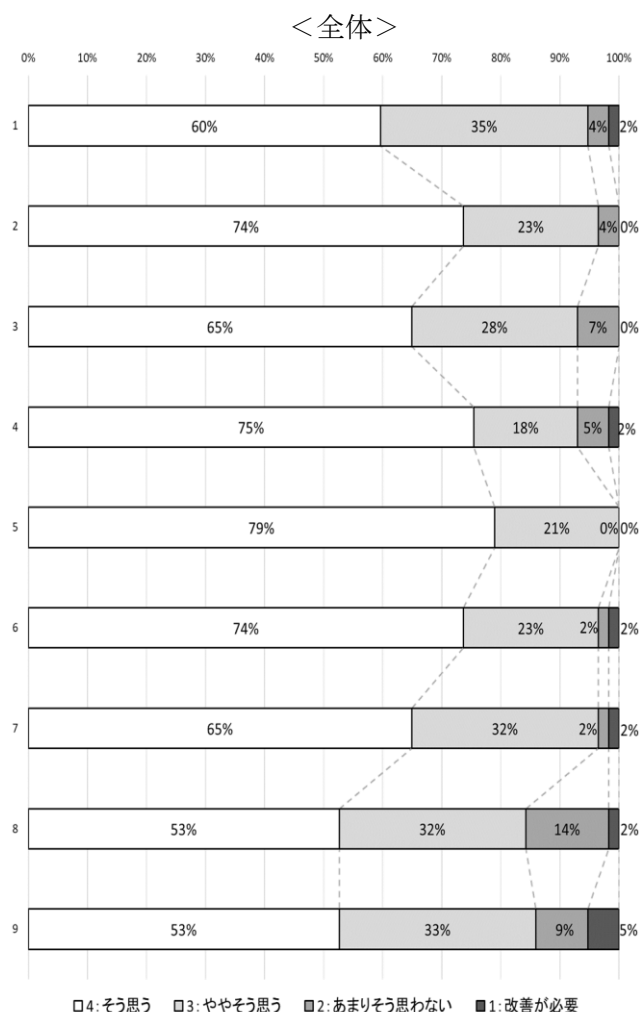
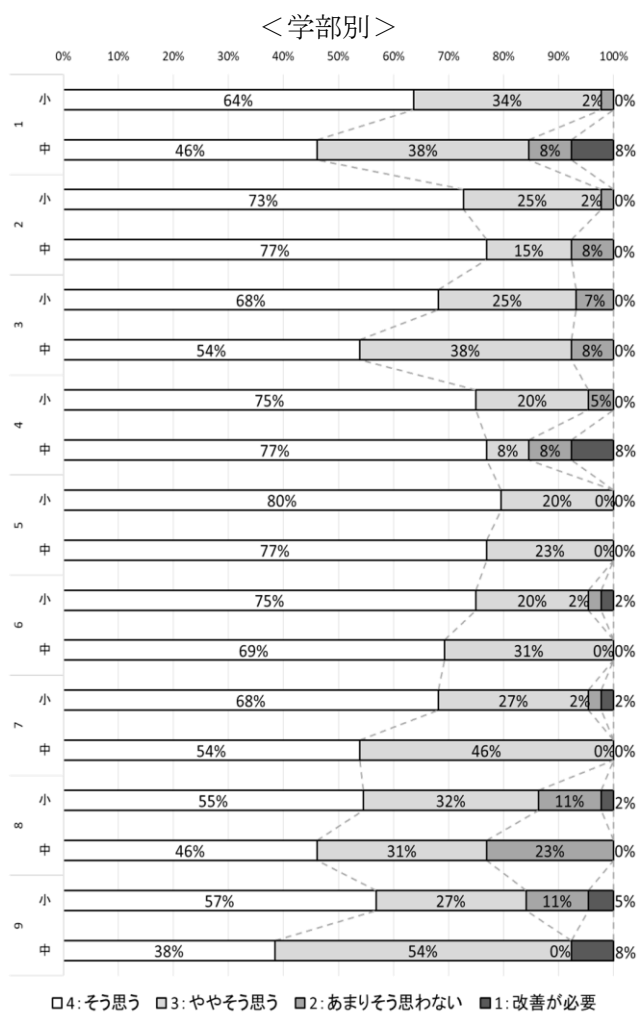


保護者による学校評価の結果

1 評価項目

項目	評価内容
1	学校、学部、学級の教育方針や教育内容など必要な情報が分かりやすく伝わっていますか。
2	学校職員は、児童生徒の人権を尊重し、丁寧にかかわっていますか。
3	学校職員は、児童生徒や保護者の思いを受け止めた教育相談や情報交換を行っていますか。
4	担任は、児童生徒のニーズを的確にとらえ、保護者と共通理解した上で個別の教育支援計画や指導計画に基づいた教育活動を行っていますか。
5	学校は、感染症予防対策やうがい・手洗い・口腔ケアなどの保健衛生習慣の定着を図る指導を行っていますか。
6	学校は、安心・安全・清潔・健康的で学習しやすい環境を整えていますか。
7	災害や医療的ケアなど緊急時対応について対策ができていますか。
8	児童生徒の将来や進路に関わる情報が分かりやすく伝えられていますか。
9	小・中学校、地域等との交流活動やボランティア活動は充実していますか。

2 集計グラフ



学校評価の結果を受けて

1 職員による自己評価

職員による自己評価では、全22項目中21項目で評定A（継続）であり、職員個人の取組が学校全体に着実に反映されていることが伺えました。評定B（定着策の検討）に該当する項目は1項目、評定C（改善策の検討）及び評定D（抜本的な改善策の検討）に該当する項目はありませんでした。

評定B（定着策の検討）に該当した1項目ありました（「6（2）キャリア教育における小・中学部の系統的な指導に取り組む。」）。関連する係から定着策が示され、全職員で取り組んでいきます。

また、今回は評定Bであった「7（1）実態に応じた交流及び共同学習等を工夫・改善して取り組む。」は、2回目では評定Aとなり、改善が図られました。

なお、評定A（継続）ですが、複数の職員から意見のあったものについても、関連する係等から、改善策が提案されており、再度確認して取り組んでいきます。

2 保護者による学校評価

（1）学部の傾向

① 小学部

最も高い評価は、項目5「学校は、感染症予防対策やうがい・手洗い・口腔ケアなどの保健衛生習慣の定着を図る指導を行っていますか。」でした。保護者の来校機会は少ない中でも、学校の取組を理解してもらうことができたものと推察されます。

最も低い評価は、項目8「児童生徒の将来や進路に関わる情報が分かりやすく伝えられていますか。」でした。社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、小学部段階から取り組んでいる指導・支援について情報提供をしていきます。

② 中学部

最も高い評価は、項目2「学校職員は、児童生徒の人権を尊重し、丁寧にかかわっていますか。」と項目5「学校は、感染症予防対策やうがい・手洗い・口腔ケアなどの保健衛生習慣の定着を図る指導を行っていますか。」でした。項目5については、小学部でも高い評価であったことから、学校全体での取り組みの成果と推察されます。

最も低い評価は、項目9「小・中学校、地域等との交流活動やボランティア活動は充実していますか。」でした。2学期は居住地校交流や学校間交流を実施することができましたが、それらの情報提供が十分でなかったものと思われる。次年度は留意して取り組んでいきます。

（2）その他

今回の保護者による学校評価では、初めてWebアンケートを活用しました。安心・安全メールを使って、記入の再呼び掛けや記入期間の延長を行いました。回答率は紙面よりも低い結果となりました。

回答率が低くなった要因として、以下の2点が考えられました。

① 安心・安全メールだけの呼び掛けとなった。

② どのような評価項目なのか、Webアンケートを開いてみないと分からないなど、評価に対する見通しをもちにくかった。

次年度は、これらの要因を改善し、たくさんの保護者から回答いただけるように取り組んでいきます。